

令和6年度 大田区立入新井第五小学校 自己評価 報告書

令和7年3月1日

○ 本校の概要

・学校規模等…本年度は開校から92年目にあたる。児童数357名(9月1日)、学級数12学級(各学年2学級)、教職員数18名(管理職2名 学級担任12名 専科4名)  
 ・学校の特徴…本校の校風は穏やかで、これは、各町会、卒業生、保護者等、古くから本校にかかわりのある人々の温かな支えによるところが大きい。また、教育活動への支援として、スクールサポートいりご(グリーンサポーターや図書ボランティアなどの常時活動や、夏休みわくわくスクール等)の取組が年々充実している。児童は何事にも素直な気持ちで向かうことができる。児童は、学年の壁を越えて交流(たてわり班等)するなど、豊かなかかわり合いが見られる。  
 ・本校の取組…文部科学省・国立教育政策研究所 教育課程実践検証協力校(5年目)、大田区教育委員会 子どもの「生きる力」を育むプログラム～大田区における特色ある教育の推進～実践研究校として、これまでの研究成果を生かしながら子どもの「生きる力」を育むプログラムの研究に取り組んできている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数	コメント	
生予個性測り力難標をな1育未成し社会を創造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	保護者アンケートより 学校は、子どもが自ら考え判断する力や友達と協力していく力を育成していると思いますか。」 学校は学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指す、ICT機器(タブレット・電子黒板等)を活用し授業を実践していると思いませんか。」	4: 90%以上	〈これまでの取組〉 ・「生きる力を育むプロジェクト」の校内研究も2年目になり、自分を取り巻く様々な課題に対応できる適応力の育成を図っている。 ・総合的な学習の時間でLEGO社のプログラミングを実施したり、地域の方と協力してこの街に住む人たちが安全に生活するためにどうすればいいのかを考える学習を行った。 〈今後の改善策〉 ・各学年で年間指導計画を作成する際に、教科横断的な学びを実施する単元を明記し、見直しをもって学習を進めていく。 ・来年度から始まる「おおたの未来づくり」の実施にあたり、これまでの「生きる力を育むプロジェクト」の成果を生かしながら地域とのつながりを軸に年間計画に基づいて適切に実施していく。	A	12	・「子ども防災訓練」に多くの保護者や地域の方が多く参加し、6年生の児童が自主的に行動している姿がすばらしかった。地域の防災力を高めるために大変よいので、次年度も継続を希望する。 ・校外に学習の場所を作って、社会に出ていくことを意識した学習をしている。 ・町探検や子ども防災訓練など、地域や学校運営委員の方々の参加型授業を実施することで、学校と地域が一体化が生まれている。 ・子どもたちの力を存分に引き出す教職員の力に感服している。 ・学年に合った課題を与え、考える力や友達と協力する力を育む学習を行っている。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上					B	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		4						C
			1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上	B								
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		C							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			D						
1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
お世個別たと目を目標な2うが人材国を際育都成市します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	保護者アンケートより 学校は外国語教育を効果的に活用して、外国語活動の授業を計画的に行い、コミュニケーション能力を育成していると思いませんか。」 学校は国や地域の伝統や文化を大切にすると共に、地球規模の課題に対して解決に向けて考える力の育成を図っている。」	4: 90%以上	〈これまでの取組〉 ・外国語教育指導員と連携を取り、児童が英語でコミュニケーションをとる機会を多く設定している。また、休み時間や放課後に外国語教育指導員と接することで英語力の向上を図っている。 ・「生きる力を育むプロジェクト」で働くことや現代社会における課題について自分事として捉え、どう行動すればいいのかを考える学習を行った。 〈今後の改善策〉 ・来年度は低学年の外国語の授業数が大幅に増える。外国語教育指導員との連携を密に取り、6年間を通して外国語に慣れ親しむ環境を整えていく。また、英語力向上のために、授業以外で外国語教育指導員と接する場を設定する。 ・来年度は「生きる力を育むプロジェクト」3年目となる。これまでの積み重ねを基に、発達段階に応じた課題を設定し、児童が自分事として捉えて解決策を考えられるようにする。	A	12	・授業以外でも、休み時間や放課後に外国語教育指導員と接することで英語力の向上を図っている。 ・学校公開で外国語の授業を参観したが、歌やプリントを使用することで児童が楽しんでいる様子が見られた。 ・子どもたちから外国語が出てくることもあり、世界への興味関心をもってしていると感ずる。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上					B	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3						C
			1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上	B								
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		C							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			D						
1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
た一個め人別の目基と標礎り3とがな個性力と能力を成し発揮する	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	保護者アンケート 学校は、道徳科を中心とした各教科等での学習を通して、豊かな情操や道徳心を育成していると思いませんか。」 学校は、学習習熟度に応じた指導を行い、豊かな学力を育成していると思いませんか。」	4: 90%以上	〈これまでの取組〉 ・保護者会の日の5時間目に道徳授業地区公開講座の公開授業を行い、その後、各学級でその授業をもとに話し合う時間を設定し、本校の道徳の学習での取り組みを保護者に伝えた。 ・1月の学校公開で体育授業地区公開講座を行い、保健や体育の学習の様子を参観させた。 ・小中一貫教育の視点から、生活指導や学習指導で共通の目標をもちながら関係各校が同様の指導を続けている。 〈今後の改善策〉 ・来年度も、道徳地区公開講座、体育授業地区公開講座を学校公開で実施することで、学校の取り組みを保護者や地域の方に理解していただく。 ・年3回の学校公開で授業内容を精選し、学習習熟度に応じた指導の様子を保護者に見ていただく。	A	12	・道徳授業地区公開講座で授業を参観したが、各学年に合ったテーマが選ばれており、教員が児童の目線に立ちつつ授業を展開していた。 ・算数少人数指導や教科担任制など、児童の実態に合わせて臨機応変に対応している点が良い。 ・地域・保護者が参観できる機会が多くある。 ・失敗を恐れず挑戦できる環境、AIや自動化が進む中で「人間ならではの力」を育む環境の提供を期待する。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上					B	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3						C
			1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上	B								
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		C							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			D						
1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
た一個め人別の目基と標礎り3とがな個性力と能力を成し発揮する	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	学校は、道徳科を中心とした各教科等での学習を通して、豊かな情操や道徳心を育成していると思いませんか。」 学校は、学習習熟度に応じた指導を行い、豊かな学力を育成していると思いませんか。」	4: 90%以上	〈これまでの取組〉 ・保護者会の日の5時間目に道徳授業地区公開講座の公開授業を行い、その後、各学級でその授業をもとに話し合う時間を設定し、本校の道徳の学習での取り組みを保護者に伝えた。 ・1月の学校公開で体育授業地区公開講座を行い、保健や体育の学習の様子を参観させた。 ・小中一貫教育の視点から、生活指導や学習指導で共通の目標をもちながら関係各校が同様の指導を続けている。 〈今後の改善策〉 ・来年度も、道徳地区公開講座、体育授業地区公開講座を学校公開で実施することで、学校の取り組みを保護者や地域の方に理解していただく。 ・年3回の学校公開で授業内容を精選し、学習習熟度に応じた指導の様子を保護者に見ていただく。	A	12	・道徳授業地区公開講座で授業を参観したが、各学年に合ったテーマが選ばれており、教員が児童の目線に立ちつつ授業を展開していた。 ・算数少人数指導や教科担任制など、児童の実態に合わせて臨機応変に対応している点が良い。 ・地域・保護者が参観できる機会が多くある。 ・失敗を恐れず挑戦できる環境、AIや自動化が進む中で「人間ならではの力」を育む環境の提供を期待する。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上					B	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3						C
			1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上	B								
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		C							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			D						
1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
た一個め人別の目基と標礎り3とがな個性力と能力を成し発揮する	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	保護者アンケートより 学校は、道徳科を中心とした各教科等での学習を通して、豊かな情操や道徳心を育成していると思いませんか。」 学校は、学習習熟度に応じた指導を行い、豊かな学力を育成していると思いませんか。」	4: 90%以上	〈これまでの取組〉 ・保護者会の日の5時間目に道徳授業地区公開講座の公開授業を行い、その後、各学級でその授業をもとに話し合う時間を設定し、本校の道徳の学習での取り組みを保護者に伝えた。 ・1月の学校公開で体育授業地区公開講座を行い、保健や体育の学習の様子を参観させた。 ・小中一貫教育の視点から、生活指導や学習指導で共通の目標をもちながら関係各校が同様の指導を続けている。 〈今後の改善策〉 ・来年度も、道徳地区公開講座、体育授業地区公開講座を学校公開で実施することで、学校の取り組みを保護者や地域の方に理解していただく。 ・年3回の学校公開で授業内容を精選し、学習習熟度に応じた指導の様子を保護者に見ていただく。	A	12	・道徳授業地区公開講座で授業を参観したが、各学年に合ったテーマが選ばれており、教員が児童の目線に立ちつつ授業を展開していた。 ・算数少人数指導や教科担任制など、児童の実態に合わせて臨機応変に対応している点が良い。 ・地域・保護者が参観できる機会が多くある。 ・失敗を恐れず挑戦できる環境、AIや自動化が進む中で「人間ならではの力」を育む環境の提供を期待する。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上					B	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3						C
			1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上	B								
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		C							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			D						
1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
た一個め人別の目基と標礎り3とがな個性力と能力を成し発揮する	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	保護者アンケートより 学校は、道徳科を中心とした各教科等での学習を通して、豊かな情操や道徳心を育成していると思いませんか。」 学校は、学習習熟度に応じた指導を行い、豊かな学力を育成していると思いませんか。」	4: 90%以上	〈これまでの取組〉 ・保護者会の日の5時間目に道徳授業地区公開講座の公開授業を行い、その後、各学級でその授業をもとに話し合う時間を設定し、本校の道徳の学習での取り組みを保護者に伝えた。 ・1月の学校公開で体育授業地区公開講座を行い、保健や体育の学習の様子を参観させた。 ・小中一貫教育の視点から、生活指導や学習指導で共通の目標をもちながら関係各校が同様の指導を続けている。 〈今後の改善策〉 ・来年度も、道徳地区公開講座、体育授業地区公開講座を学校公開で実施することで、学校の取り組みを保護者や地域の方に理解していただく。 ・年3回の学校公開で授業内容を精選し、学習習熟度に応じた指導の様子を保護者に見ていただく。	A	12	・道徳授業地区公開講座で授業を参観したが、各学年に合ったテーマが選ばれており、教員が児童の目線に立ちつつ授業を展開していた。 ・算数少人数指導や教科担任制など、児童の実態に合わせて臨機応変に対応している点が良い。 ・地域・保護者が参観できる機会が多くある。 ・失敗を恐れず挑戦できる環境、AIや自動化が進む中で「人間ならではの力」を育む環境の提供を期待する。		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		3: 80%以上					B	
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3						C
			1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	3: 80%以上	B								
3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		C							
2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			D						
1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									

学個別 校別 力目 標 教4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童のアンケートより「授業がよくわかる。」に対して肯定的な回答の割合 保護者のアンケートより「学校は、学習習熟度に応じた指導を行い、豊かな学力を育成していると思いますか。」 教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っていると思いますか。」 に対して肯定的な回答の割合	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	89%	〈これまでの取組〉 ・若手教員育成として校内OJTを進め、内容の充実を図っている。 ・第4学年から第6学年では理科と社会において教科担任制を行うことにより、専門性を生かした内容の濃い授業を展開した。 ・起床を早く行うことで教職員が見通しをもって職務に従事できるようになり、心身ともに健康な状態で児童と向き合うことができた。  〈今後の改善策〉 ・来年度も毎月校内OJTの時間を設定し、中堅教諭による若手教諭への指導状況の報告及び意見交換会をするとともに、若手教諭への管理職や中堅教諭からの勉強会を行う。 ・本年度に引き続き、年間行事予定に基づいた学校運営を行うことにより、教職員が見通しをもって職務にあたる環境を作る。	A	10	・校内研究により、学校全体で教員のスキルアップを行う体制がとられている。 ・第4学年から第6学年で、理科と社会で教科担任制を実施している点が良い。 ・本年度開催された展覧会の作品を見ると、児童が学校生活を楽しみ、伸び伸びと活動している様子が伝わった。 ・暗記中心の学習から問題解決型、探究型学習への転換を期待する。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		
た自個 め分別 の目 学し 標 びを い き 支 援 し ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者のアンケートより「学校生活の中で、友だちや先生に自分の気持ちを伝えましたか。」 に対して肯定的な回答の割合 「おおむねできた」と全教員が回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	91%	〈これまでの取組〉 ・いじめに関する授業を全学級が毎学期確実に実施した。また、集会委員会が「いじめ撲滅集会」を企画し、全校で行うことで、いじめに対する意識が高まった。 ・学級担任が各家庭への連絡を密に取ったり、個人面談を活用することで、保護者が育児に関して困り感を抱えていることに早く気づき、スクールカウンセラーに相談する方法を提案する環境がある。また、児童が休み時間にスクールカウンセラーに気軽に話に行く姿も見られる。  〈今後の改善策〉 ・いじめを見逃さない姿勢を全教員がもち、早期発見ができるように金曜日に実施する生活指導夕会での情報交換を密に行う。 ・本年度のように全教員で児童を育む意識をもち、学級、学年を超えてみんなで児童を見守っていく組織と継続する。	A	12	・必要に応じてこどもと話をしっかりしていることが感じられる。また、学童に行くのが遅れる際には理由を連絡するなど、地域や関係機関と連携がしっかりと取れている。 ・家庭、地域も同じ意識で学校と協力して、今後も児童を育んでいきたい。 ・教職員が授業だけでなく、中休み等の休み時間も児童と関わることで、話しやすい環境や関係性が構築され、いじめの早期発見につながっている。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		
安柔個 心軟別 なで 目 標 育 造 環 境 を 学 習 空 間 と 安 全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケートより「学校は、避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を行っていると思いますか。」 に対して、肯定的な回答の割合 「おおむねできた」と全教員が回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	94%	〈これまでの取組〉 ・児童により防災訓練を実施し、保護者や地域の方々にも参加していただいた。地域防災の意義や地域の一員としての役割について学習する機会を設けた。 ・地域防災訓練に多くの教職員が参加し、地域の方と協力し防災拠点としての学校の立場を意識し、設営の方法を学んだ。  〈今後の改善策〉 ・保護者や地域の方から取り組みの継続の要請もあり、子ども防災会議など今年度の取り組みを今後も改善しつつ継続する。 ・コミュニティスクールとして地域との関わりをより密接にしなが、委員の皆さんと協働して作業を進めていく。	A	12	・参観日や学校行事、コミュニティスクールなど来校すると、こどもたちが落ち着いて学校生活を送っている様子が見られる。 ・教職員同士の雰囲気がとてもよく、日頃から小さなことでも相談し合える関係であることが伺える。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		
学地学 校校別 をコ ミ家 標 ク庭 7 リニ マテ 地 域 の 核 運 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケートより「学校は地域・保護者との協力のもと、教育活動の充実に向けて頑張っていますか。」 に対して肯定的な回答の割合 「おおむねできた」と全教員が回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	92%	〈これまでの取組〉 ・今年度から学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしての活動を推進した。 ・休日に行われるPTA行事、地域防災訓練等に教員が積極的に参加したり、学校の授業や行事に保護者や地域の方が参加したりする機会を設け、学校、保護者、地域が連携して活動した。 ・交通安全指導員による登下校の見守りやPTAによる地域パトロールを実施した。  〈今後の改善策〉 ・コミュニティスクールとして地域との関わりをより密にしなが、委員の方と協働して作業を進めていく。 ・ホームページを活用し、本年度と同様に学校の様子を毎日発信していく。	A	11	・学校運営協議会の会議内容が、学校や地域の課題に対応に資するテーマ型で進められており、地域の委員にも根差した取り組みとなっている。 ・コミュニティスクールにも教員が参加しており、学校生活の話などを伺うことができる。また、教員が明るく、前向きに学級経営を行っていることを知ることもできた。 ・ホームページが充実していて、こどもたちの様子や学校の雰囲気がよく分かり、保護者だけでなく地域の方も楽しみにしている。 ・来校者に対して、児童や教職員の方から声を掛けてくれることがとてもうれしい。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなど連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満	0	0	0		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す